

# 台風被害フィリピンへ

## AMDA、調整員派遣

物資供給  
物活 動

国際医療ボランティアAMDA（岡山市北区伊福町）は10日、台風28号の被害を受けたフィリピンの被災者を支援するため、本部職員の新倉裕太郎さん（27）＝同市＝を調整員として現地に派遣した。

新倉さんは同日午前、JR岡山駅を出発し、関西空港経由で同国入りした。滞在期間は1週間ほどで、12日から中部サマル島で

物資の供給に携わる予定。新倉さんは岡山駅で「都市部に比べて支援が行き届きにくい農

村地域を回るため、ニーズをしっかりと把握しながら活動したい」と話した。

AMDAによると、台風28号は2、3日にフィリピンを襲い、川の氾濫などで約18

3万人が被災。死者5

上っている。  
（河内慎太郎）



出発前にAMDAのスタッフと話す新倉さん（右）＝JR岡山駅